



Quarterly

高千穂

夏号

2012/7 Vol.38

高千穂大学の女子力



TAKACHIHO UNIVERSITY



Quarterly
クォーターリー

高千穂

Vol. 38 | 2012/7

Contents

3	特集 高千穂大学の女子力 女子学生の紹介 女子学生のお弁当拝見 女性教員が語る女子力
8	TAKACHIHO News オープンキャンパス2012
10	TAKACHIHO Campus Life 学友会コーナー
12	Seminar Information ゼミ I の概要 ゼミナール連合本部の紹介
13	TAKACHIHO Report 就職活動体験記
14	New Books & Review 書籍紹介
15	TAKACHIHO Report わたしの学生生活 私の学問
16	TAKACHIHO Data Eye 平成24年度 予算の概要 平成23年度 決算の概要
20	TAKACHIHO Information 高千穂同窓会 父母の会
22	TAKACHIHO Information 4月～7月の出来事 日中対照言語学会報告 夏季休業中のコンピューター室解放と機器の貸し出しについて 編集後記

高千穂大学ソーシャルメディア 公式アカウントについて

このたび、インターネット上での情報発信力をより一層強化するために、facebook・twitter等の活用も開始することといたしました。是非、facebookページの「いいね!」、twitterアカウントの「フォロー」によりコンテンツをご覧くださいませよう、お願いします。

facebook

<https://www.facebook.com/takachihouniversity>



[@takachihouniv](https://twitter.com/takachihouniv)



特集 高千穂大学の女子力

よく耳にするようになった「女子力」という言葉。人によって色々な意味や価値観を持つ言葉ですが、高千穂大学にも様々な「女子力」を持った女子学生達があります。今号では、そんな高千穂大学の「女子力」をご紹介します。

商学部 4 年
教職課程履修

得居 千照さん

教職をはじめたきっかけ

自らの希望で大学に通い始めた私は学費を自分で支払っています。学ぶために働く。学びたい時間も、学ぶために働かなければいけないという葛藤は今でも続いています。負担は大きいですが、自らの希望で大学に通っているという責任感は、私をさらに学問の世界に引き込みました。

しばらくして、10年以上受けてきた教育というものは、どのようにして私たちを育てようとしてきたのかを知りたくなりました。これが、教職課程履修のきっかけです。しかし、教職課程履修により、それだけ多くの単位数を取ることになる。すると、働く時間が減り、学費が間に合わないかもしれない。大学に通うことができなくなるかもしれない。

こんなとき、私の支えとなったのは「学びたい」、という強い気持ちです。確かに、今まで以上の負担を抱えることになるかもしれないけれど、ここは、「自分の興味に正直に向き合おう！」と思いました。この気持ちは、今も私を支えてくれています。

自分が考える女子力

「女子“リョク”」と聞いて、頭に浮かぶのは、フワフワのスカート、サラサラの髪の毛、どこまでも上を向くまつ毛…。かなり偏った見方ではありますが、外見の美しさ＝女子“リョク”だと考えています。だとすると、私の女子“リョク”は皆無だと言えます。もっとかわい子に語ってもらうのが良いのではないかなと思う



ほどです。

ただ、ちょっと見方を変え、女子“リョク”ではなく、女子“チカラ”として捉えると、これは真っ先に手を挙げて発言したくなるほど、身近に感じてしまいます。私の考える女子“チカラ”、それは、興味に全力で飛び込むということです。ファッション、恋愛、友人関係、私は学問でしたが、それぞれの今ある興味と、真正面から向き合い、全力を傾けることができるチカラ。そう考えると、女子力は今の私を形成するために、欠かすことのできない力であると感じます。

教職を通して感じたこと

学校の制度や教育の考え方を学びたいと感じ、始めた教職課程ですが、教育実習を機にこの意識は変わりました。「目の前にいる生徒は毎日を生きている。」実習校の指導教諭の先生が何気なくおっしゃったこの言葉は、「制度」から、「生徒一人一人」へ、私の視点を変えてくれました。生徒一人一人を的確に把握し、私自身が生徒に寄り添い、適応することのできるような教員になりたい。そう感じています。

今後について

大学に入学したときは、4年後には企業でバリバリに働くんだ！と考えていましたので、自分が教職の勉強をさらに深めるために大学院への進学を希望している今、「随分と遠いところに来たな。」と感じています。3年前、目の前にある興味に全力で向き合ったからこそ、その姿勢を継続することができ、また、新たな興味を生んでいます。みなさんも、全力で自分の興味と向き合い、前進し、まさに、女子力を持って自分の未来を切り開いていきましょう！



得居さんはどんな学生ですか？

得居さんは、好物のスイカのように大きなポテンシャルの持ち主。

教育実習での“考える”授業は圧巻でした！

(人間科学部 教授 松丸啓子)

人間科学部 2 年
児童教育専攻

大塚 美里さん

高千穂祭実行委員会に入ったきっかけ

最初は何でもよかったけど楽しいことがしたいと思っていました。大学といえば大学祭。大学祭を一番楽しむには大学祭実行委員会に入るのが一番だと思ったので入ることにしました。



委員会の中での自分のポジション

私は委員会みんなが楽しく仕事やコミュニケーションができればいいなと思っています。意識しているわけではありませんがいつも笑顔でいることができますので、みんなを和ませることができていると思います。みんなからはよくマスコットの存在だと言われます。先輩にも後輩にも初めて会った人にも同じテンションで話しかけられるように、心がけています。

商学部 2 年
ゼミナール連合本部

宗野 明日香さん

ゼミ連に入ったきっかけ

友達に誘われて放課後にゼミ連の見学に行ったのがきっかけでした。

その時の先輩達は忙しいそうだったんですが、とても優しく接してくれ、ゼミ発表会という1つの物に向けてみんなで一緒に頑張る事ができるのは素敵だと思い入ることにしました。ゼミ連に入ればみんなと達成感や充実感を得られ、同時に責任感を持って行動できると思いました。



ゼミ連で感じる女子力

ゼミ連の先輩たちは細かいところにまで気が利くし凄いです。私も見習わなきゃいけないと思っています。

あと、日々の活動を見ているとみんな忙しいのにキラキラしていると思います。

自分が発揮できている女子力

今回の学祭ではミス・ミスターコンテストの担当として、かわいい女の子、かっこいい男の子にたくさん声をかけています。先ほどの質問でも答えたように、私はどんな人でも気兼ねなく話をする事ができるので、声をかけたみなさんにもリラックスした気持ちで話を聞いてもらって、ミス・ミスターコンテストに興味を持ってくればいいなと思っています。



第47回高千穂祭 10月19日(金)~21日(日)

ミス・ミスターコンテスト2012

10月21日(日)14時30分~15時45分

やっぱり何かに向かって一生懸命頑張っている姿は素敵ですね。

女子力を高めるためにしていること

私が心掛けていることは、あいさつと笑顔でいること、それと周りをよく見ることです。やっぱり自分に余裕が無くなると視野が狭くなってきてしまうから、そういう時こそ視野を広くして気配り出来ればなと思います。

あとは何事に対しても努力するという姿勢が大切だと思います。それは外見からでも内面でも。何かを変えようとする自主性が大切ですし、それはゼミ連でも同じだと思います。

ただ待っているだけ、じゃなにも変わらない。思っていることを行動に移せるかどうかだと私は思います。



ゼミ発表会 11月5日(月)~9日(金)

経営学部2年
硬式野球部 マネージャー

おきはら
渙原 千明さん

硬式野球部に入ったきっかけ

わたしは高校生の時、野球部のマネージャーをやっていて、強くはなかったですが3年間とても充実した時間を送れました。その経験もあって、もっと野球と関わりたい！大学野球でもやりたい！と思い、野球部がある大学を選びました。最初は女子マネージャーが1人もいなくて不安だらけでしたが、皆さんが優しく受け入れたのですぐに馴染むことが出来ました。毎日とても充実しています。



硬式野球部の中での役割

わたしは主に事務的な仕事が多く、基本的にグラウンドより室内の事が多いので練習中の役割などはないのですが、全員の事をなるべく理解出来るように選手とのコミュニケーションを大切に、話しやすい雰囲気を出せば良いなと思っています。

部活動で発揮する女子力

高校時代から部内での唯一の女子マネージャーとして、最低限、ティッシュやハンカチ、薬、爪切り、な

どは常備するようにしています。あと全員の誕生日も忘れないように心がけています。プレゼントなどなくても、おめでとうと言われるだけで嬉しいと思いますので選手たちの誕生日も人数が多いですが気をつけたいと思っています。あまり、気もきかないですが自分が出来る事をしっかりやっていきたいと思っています。

今後の抱負

秋のリーグ戦も必ず優勝し入替戦に行き、次は勝って1部昇格します。ぜひ球場まで足を運んで頂けますと選手たちも俄然やる気が出ると思います！高千穂大学硬式野球部の応援よろしくお願い致します！

春季リーグ戦報告

東京新大学野球リーグ2部春季リーグ戦にて優勝。1部との入替戦に出場するが、惜しくも敗退。秋季リーグの躍進に期待。

渙原さんはどんなマネージャーですか？

唯一の女子マネージャーとして、野球部のため、勝利のために選手以上に頑張ってくれています。とても感謝しています。あと、とても明るく、常に笑っています。

(硬式野球部主将 土谷 尚之さん)



女子学生

お弁当 拝見

女子学生のみなさんにとっておきのおいしい手作りお弁当を披露していただきました。学食やカフェのメニューもおいしいけど、やっぱり手作りが一番！ 高千穂大学にはそんな女子力の高い女子学生がたくさんいます。



吉元 祐希さん

商学部 2年

「彩りやバランスを考えて楽しみながら作ってます!!」(本人)
肉巻きがカラフルでいい感じ! 卵焼きはハート型です!



小関 風美帆さん

人間科学部 3年

くまのキャラ弁がとてもかわいくできてます! 食べるのがもったいないくらいです!



福地 加奈子さん

商学部 3年

きれいに焼かれた卵焼きが特においしいそう! プマがかかったご飯もおいしいよね!



間庭 遥さん

商学部 3年

ご飯の上に顔とリボンと海苔でひと工夫。とても可愛いお弁当です。タコさんウインナーもノリノリです!



林 千夏さん

商学部 3年

「野菜を多く使って彩りとバランスを考えてお弁当を作っています!」(本人)
バランスを意識しているのがすごく伝わってきます。



近江 千裕さん

人間科学部 2年

色の濃いおかずと対照に真っ白なごはんがとてもおいしそうに見えました。下におかずが・・・!?



加藤 美夢さん

人間科学部 2年

デザート持参のよくばり弁当! カニさんウインナー登場のおかずもとても具沢山です!



河合 咲さん

人間科学部 4年

「いつも気を付けていることは、彩りと食感のバランスです! 大好きな卵焼きはかせない!」(本人)
3色おにぎりがとてもかわいいです。ハムでできたりボンともとても繊細!



山崎 絢子さん

経営学部 1年

「アメフト部のマネージャーとして栄養学を勉強しているので選手のことを考えてお弁当を作りました。選手の体調管理もばっちりです!」(本人)
スポーツ選手にはフルーツも大事ですね!



鈴木 明日香さん

人間科学部 2年

「大好物ばかりのお弁当! 一番がだし巻き卵。誰が食べても大絶賛!」(本人)
日本人の食事に欠かせない漬物は高ポイント!



望月 藍羅さん

人間科学部 2年

「この三色お弁当は、高校時代に母に作ってもらった大好きなお弁当です。頑張って、母のような美味しいお弁当を作れるようになりたいです。野菜は実家の畑で育ったとても美味しい野菜です!」(本人)



落合 花梨さん

人間科学部 1年

「好きなおかずばっかりのお弁当です! ちなみに卵焼きは甘い派です!」(本人)
ミニトマトにかかっているマヨネーズもハチマキみたいでかわいいですね。



菊地 彩さん

人間科学部 3年

「チェブラーシカっぽく作ってみました!!! あと旬な果物と一緒に☆」(本人)
炊き込みご飯にフルーツもついてボリューム満点!

女性教員が語る女子力

経営学部
起業・事業承継コース

川名 和美 教授

先生の考える女子力とは

「女子力」というと「女らしさ」とか「おしとやかさ」なんて想像する方もいらっしゃるのかもしれませんが、それは「女性力」だと思います。



私がイメージする女子力は「外面だけでなく、内面も磨くことに努力する力こそが女子力」つまり、女子が生まれつき持っている能力や女であることを自覚して努力する力じゃないかな。男性ウケすることだったら「女性力」でいいわけで、なぜ「女子力」かってことにこだわりがあるのです。

スポーツの場合は「女子バレー」とか「女子サッカー」というように、いくつになっても女子がつくでしょ?だから何歳になっても「女子会」でいいんですよ(^^)

私の女子力自慢

そうですねー。毎週息子につくる弁当かな。もう中学

3年生になるから「キャラ弁」は卒業だけど、友達に「すげーっ!」って言われるようなびっくりするようなネタを仕込んでます。自分用の弁当だって結構凝って、楽しんでしまってるんですよ。



学生に身につけてもらいたい女子力

私は起業・事業承継コースを担当しているので、その視点から。

将来、自分の店を持つ、会社を起こす、女性だってそれが難しくない時代です。

でも経営者は、自分で何でも決められるけど責任するのも自分。「自己責任・自己決定」が大原則です。女子学生には人まかせにするんじゃないで、自分で決めて自分で責任を持つ。そんな力を今からつけてもらいたいと思います。

人間科学部
児童教育専攻

徳田 治子 准教授

先生の考える女子力とは

伝統的に女性が求められてきた役割に基づいて「〇〇ができる」という観点から個々の力を評価することも可能でしょうが、ある組織や社会のなかで、女性が生き生きと活動している状態やそれを目指そうとするエネルギーといった集合的な力と見なすこともできるのではないかと思います。



私の女子力自慢

一般的なイメージでの女子力として自慢できるものはあまり持ち合わせていないと思います。ただ、日々を丁寧に、いつも新鮮な気持ちで毎日を過ごすように

心がけています。身近な自然やまわりの人との関わりのなかでポジティブなパワーを得る力を一つの女子力とみなすなら、そのような力はあると思います。



学生に身につけてもらいたい女子力

自分が人間としてどう生きるかという問いに真剣に取り組んで欲しいと思います。女性としての力強さや豊かさは、一人一人がきちんと自分と向き合い、自分とは異なった価値観や考えから学び、それらと格闘するなかで磨かれ、次第に輝きを放つものではないでしょうか。

「体感する高千穂の日」

もうすぐ暑い夏がやってきます。

オープンキャンパスといえば「夏」というイメージがありますが、最近は、夏だけではなく4、5月から開催する大学も増えてきました。こうした背景には、高等学校での進路指導方針として低学年から進路について考える契機としていることが考えられます。

では、今年の本学のオープンキャンパスについてご紹介しましょう。

<6月16日>

大学を理解していただくための「学部紹介」を実施します。これは、各学部のコース、専攻別に「何を学び」「将来どのように活かすことができるか」ということにポイントおいて説明します。



<7月8日>

学部別の模擬授業と具体的な入試制度について説明します。模擬授業を体験することにより高校と大学の「学び」の違いを理解すると同時に「学ぶ楽しさ」を体験していただきます。

—模擬授業タイトル—

- 会計情報から何がわかるか?
- 経営学を勉強すると就職に役立つって本当?
- 人工妊娠中絶の是非

～人間はいつから「人間」になるのか～



<7月29日・8月19日>

「学びをより深く理解する」ことを目的に、模擬授業はコース、専攻別に実施します。高校生の学部選びと学びの内容を確認していただくためです。特に7月29日は8月の第1回AO入試の対策講座として、エントリーシートや面接の対策について詳細に説明します。

—7月29日模擬授業タイトル—

- マーケティング入門
～身近な商品からマーケティングを考える～
- 保険って何?
- 原価計算の基本
- 「経営学部」ではどんな勉強をするんだろう?
- 企業経営の仕組み・カラクリ
- いのちの「長さ」と「終わり」
- 先生って何するの?

—8月19日模擬授業タイトル—

- ポジショニングによるブランド構築

- 株価の付き方
- 会計を学べば、どんな仕事につけるのか
- 実践経営学のススメ
～なぜあの企業は儲かるのか～
- 企業経営の仕組み・カラクリ
- 「人生の時刻表」について考える
- 子どものストレスとストレスマネジメント



<9月15日>

高校での3者面談等も終わり、志望校決定時期に合わせて、再度、AO/推薦入試の概要等について説明します。

—模擬授業タイトル—

- 会計と社会
- ICTが現代社会に及ぼす影響を最近の話題から考えてみよう
- 生きているということは素晴らしいか?それとも、つまらないか?



<10月20日>

11月からスタートする推薦入試について説明します。推薦入試のポイントは面接試験です。面接試験対策としての注意点や自己PRの方法など要点を解説します。また、学園祭を開催していますので、模擬店などを事例に商学、経済学、人間科学の学び全般について模擬授業を実施します。

<12月15日>

メインは一般入試対策です。本学の一般入試の出題傾向や昨年の状況などを解説します。

—模擬授業タイトル—

- インフレとデフレについて
- マネジメントの時代
- 日本の教育格差

以上は、各オープンキャンパスのコンテンツの一部です。その他にも「父母対象説明会」として、気になる「就職状況」「授業料・奨学金制度」の説明や、在学生が生の大学生活をレポートする「Enjoy Campus Life」、大学の行事(大学祭、スピーチコンテスト)も同時に体験できるプログラムも用意しています。また、毎回開催する「個別相談」は好評で、入試委員の先生や入試課の職員が受験生やご父母の方の相談に親切に対応しております。関係する高校生がおりましたらぜひお声がけをお願いいたします。



体 育 祭

平成24年6月2日（土）梅雨入り間近で天候が心配されるなか、第43回体育祭が、約280名の参加者により登戸総合グラウンドで開催されました。

競技種目としては、登戸グラウンドの広さを生かし100m走、大玉転がし、騎馬戦、棒引き、綱引き、サーキットリレーなどの大規模な種目や、玉入れなどの少人数でできる競技など多数の種目が実施されました。

また、体育団体のほかに高千穂祭実行委員会、ゼミナール連合本部、学術文化団体連合会、一般学生からの有志団体なども参加し、部活動に所属していない団体也大いに盛り上がる事が出来ました。

なお、今年の熱戦を制し第1位に輝いたのは2チームあり有志チーム「今年こそア充」と硬式野球部チーム、第3位

はフットサル愛好会チームとなりました。

毎年、異なった種目で競技がとり行われており、大学生ならではの白熱した体育祭となっています。来年もより一層盛り上げてまいりますので、楽しみにして下さい。



六月祭

学術文化団体連合会主催の六月祭は6月21日(木)～23日(土)の期間開催されました。文連所属の団体が音楽祭・芸術祭・ニューカレッジコンテストの3つの種目に分かれ、磨き上げた技を披露し、出場する友人を応援しようと集まった多くの観客を魅了していました。また審査員も学生が務めたことで、アットホーム感あふれるイベントとなりました。



高千穂祭

本学の大学祭は、毎年お笑いライブやコンサート、更には部活動やゼミが模擬店を出店するなど高千穂大学が誇る一大イベントです。子供から大人まで楽しみ、学生をはじめ地域住民の皆様や幼稚園生など幅広い来客層となっています。展示物や音楽イベントなど様々なイベントが催されますので、皆様是非お越し下さい。



クリーンアップキャンペーン

9年目となるクリーンアップキャンペーンは、ゼミ所属学生とクラブ所属学生が学友会役員とともに、校内・大学付近の清掃を毎週水曜日の昼休み時間を利用して行っています。



学友会からの お願い

4月に新入生を迎え、学内も活気に溢れています。クラブ活動や授業に夢中になっているのではないのでしょうか。

さて、学内における喫煙マナーですが、ここ数年で改善されておりますが、**未だにポイ捨てや歩きタバコなど喫煙場所以外での喫煙が目立ちます。自分だけの大学ではありません。皆さんが気持ちよく使えるように協力してマナーを守りましょう。**

また、学友会が開催する競技大会をはじめ、高千穂祭やゼミ発表会など積極的に行事に参加してほしいと思います。部活動の仲間やゼミの友達など、皆さんで大学行事を盛り上げていきましょう。

<1年生 必修科目> ゼミ I の概要

教務委員長
寺内 一

「ゼミ I」という授業科目は、本学の全1年生が必ず単位修得をしなければならない最も重要、かつ、基本的な科目です。

学生が学習・生活の両面において主体的、能動的に行動すること、そして将来に向けて自己を確立するという人間形成の一助とすることを目的として、平成14年度に初年次教育の中核として新たな内容によってスタートした科目です。18歳人口の減少や、大学進学率の上昇等による、「大学のユニバーサル化」現象は、学習意欲の低下、進学目的の希薄化、結果としての退学者の増加といった問題を生じさせることとなりました。そのような全学的な問題に対応するため、それまでに培ってきた本学の少人数教育のノウハウと小規模大学故の利点を生かし、従来多くの部分を各教員の裁量に委ねていた教育内容を原則として全クラス同一とし、さらに、各教員には自ら積極的に学生に関わりながら、学習面は当然のことながら、学生の自己認識や将来の目標設定等に関する「アドバイザー」としての役割を担当してもらうこととしました。以下に、「ゼミ I」の授業内容の概要をご紹介します。

平成24年度の「ゼミ I」は、基本的には学部別編成による1クラス約11名、合計で45クラスが開講されています。授業では、次の4つの視点による内容が展開されています。



①スムーズな大学生活への視点

- 学内での友人・仲間づくり、先輩や担当教員との交流
- 社会を構成する一員として必要なマナーやコモンセンスを身につける
- 図書館など学内施設の利用方法の説明

②スタディ・スキルの視点

- 文章作成力の養成と効果測定のための課題文の作成（入学前と夏期休業中）
- ノートテイキングのノウハウ等の学習と効果測定のための共同授業等

③課題探求型学習の視点

- 専門科目、専門ゼミの学習へ向けた、問題発見・解決能力、論理的思考能力、コミュニケーション能力とプレゼンテーション能力の養成と効果測定のための共同授業等

④キャリアの視点

- 一般常識養成のための「ガンバレ高千穂10分勝負」の実施
- 「がんばれ高千穂－キャリア編パワーアップ－」による自己理解等

最後に、前述したアドバイザーとしての役割に関連する「学生生活目標管理シート」と「高千穂マスタープラン」についてご説明します。「高千穂マスタープラン」とは、本学の4年間について、授業・ゼミ、就職活動、学生生活全般の主な行事とその内容を示したもので、学生が4年間の大学生活（いつ、何をといったもの）を計画するために参考となるものです。「学生生活目標管理シート」とは、「高千穂マスタープラン」を参考に学生が設定した目標やその進捗度、そして反省点等について記入し、最低各学期に1度はアドバイザーである教員の助言を受けながら、常に現状を認識し今後の方向性を見極めるための資料となるものです。

以上のような、いくつかの取り組みを行いながら、学生一人ひとりの成長をサポートするための場が「ゼミ I」であり、その基本方針および方法は、2年次以降の専門ゼミにおいても継続して展開されています。

ゼミのまとめ役 ゼミナール連合本部の紹介

ゼミナール連合本部とは、本学のゼミナール重視の教育方針にのっとり、各ゼミナールの活性化及び発展を目標に支援・援助を行っている学友会所属の学生団体です。

本年度は、第38期役員として2年生11名、3年生9名、4年生7名の合計27名で活動しています。

主な活動は、ゼミ発表会に向けて専門ゼミ生に連絡する「ゼミナール連合委員会議」や、1年生が次年度の専門ゼミを選択する際の参考となるべく「PRイベント」や「公開ゼミ」等の企画・立案・運営等を行っております。また、昨年度からは、ゼミ発表会に向けてより良いプレゼンテーション技術の習得を提供する場として「プレゼン講習会」を開催するなど、ゼミ所属学生に寄り添った企画を提供しています。

中で最も大きな企画は「ゼミナール発表会」です。今年度は過去最高の114パートが参加予定です。運営に際しては、役員一同今まで以上に気を引き締め、入念に準備を行っていきたくと思っています。



ゼミナール連合本部
第38期委員長

嶋田 友香

本年度も各行事の参加者にとって有意義な企画を提供することはもちろんのこと、私たち本部役員も納得できるような運営ができるよう努力していきたくと思います。

最後となりましたが、皆様の温かいご声援のほどよろしくお願いいたします。



就職活動 体験記

■3年生対象・就職支援行事が始まりました

就職委員会・就職支援課では、学生一人ひとりに寄り添った就職支援行事の一環として、3年生全員を対象とした“春の進路相談会”を5月14日から2週間にわたり実施いたしました。卒業後の進路について考える第一歩として、また就職について一人で悩むことなく就職委員会委員や就職支援課職員が相談相手であることを知ってもらう場となりました。また新企画“仕事研究セミナー”では、多くの学生が、様々な業界での働き方を学ぶことにより業界研究の機会を得ました。参加学生は、企業で活躍する先輩方や人事担当者の話を真剣に

聴き入っていました。



春の進路相談会



OBによる仕事研究セミナー（応用編）

平成24年度 就職活動支援行事【3年生向け】

実施日程	行 事	1・2年生 参加可能	ポイント
9/25 火 10:40～12:10	秋の就活ガイダンス		就活の流れを再確認
10/2 火 10:40～12:10	自己分析・自己PR 講座		自分の強みを探る
10/9 火 10:40～12:10	エントリーシート・履歴書講座		自分の強みを表現する
10/16 火 10:40～12:10	一般常識テスト		筆記試験の実力確認
10/23 火 10:40～12:10	就職活動体験報告会	★	就活の実情を知る

※開催日程は都合により変更となる場合がございます。事前に学内掲示、求人 NAVI にてご確認ください。

■就活中の皆さんへ

昨年度に引き続き企業の採用は厳しい状況にあるものの、就職支援課に毎日たくさんの求人が届いており、学内求人も累計で4,777件となりました（7/4現在）。この1か月で1,088件の求人が届いております。就職委員会では昨年度秋学期に実施しておりました“学内個別企業説明会・選考会”を6月からの開催とし、学生と企業と

のマッチングの機会を多く設けております。7月には夏休みまでに内定を得るためのガイダンスや求人紹介相談会を実施致しました。学内個別企業説明会や選考会は随時、実施してまいります。求人NAVIや学内掲示にてお知らせ致します。

■東京新卒応援ハローワーク・ジョブサポーターによる相談を開始いたしました。

就職支援の強化を図るため6月から毎週月曜日に東京新卒応援ハローワークの相談員に常駐していただき、4年生を中心とした就職に関する相談やハローワークの保有する求人紹介等を行っていただいております（予約制です。就職支援課にお申込み下さい）。

7・8月の相談日

7/2・9・23・30
8/6・27

今、学生に読んでほしい本！



渋谷栄一教授(経営学部)より紹介 『戦艦大和ノ最期』

吉田 満 著

【講談社文芸文庫・940円】(1994年8月初版)



2011年3月11日の東日本大震災・原発事故は驕れる日本の第二の敗戦であった。戦艦大和と運命を共にした臼淵磐大尉(21歳)の言葉を思い出す。「進歩ノナイ者ハ決シテ勝タナイ 負ケテ目ザメルコトガ最上ノ道ダ 日本ハ進歩トイウコトヲ輕シ過ギタ 私的ナ潔癖ヤ徳義ニコダワッテ、本当ノ進歩ヲ忘レテイタ 敗レテ目覚メル、ソレ以外ニドウシテ日本ガ救ワレルカ 今日覚メズシテイツ救ワレルカ 俺タチハソノ先導ニナルノダ 日本ノ新生ニサキガケテ散ル マサニ本望ジャナイカ」。



小向敦子教授(人間科学部)より紹介 『俺、今精一杯生きてる』

浅野 照子 著

【日貿出版社・1,890円】(2010年)



本書は、漁師町で生まれた著者が、早くに亡くした夫のかわりに、地引網の親方となって働いてきた母の介護を、日記形式に綴った画文集である。「俺」とは、著者の母を指している。「はじめに」には、こうある。「働きものだった母が少しずつ壊れてゆきます。私はそんな母を受け入れることができず、母をどなったり、ひっぱたいたりしました。」「母をたたいたことは、今も小さなトゲとなって私の心を刺します。でもあの時は、私も必死だったのです。」飾らない文章に、だからこそ、はっとする素直な気持ちが表現されている。そして文章の合間の、どちらかと言えば、ごつごつした野菜や魚の色と形に、ありのままが伝わる、強さが描写されている。もだしがたい切なさ、ある日の電車内の私に迫り、涙が止まらず、鼻をかんで、また続きを読んだ。今回「今、学生に読んで欲しい本は？」と問われて、ややもすれば無骨に映るほど真っすぐな、学生たちの姿がこの一冊に重なった。

図書館員が選んだこの2冊

『未来国家ブータン』

高野 秀行 著

【集英社・1,575円(税込)】(2012年3月30日 出版) ISBN:9784087714432

GNPよりGNH、生物多様性、環境立国…今世界が注目する「世界でいちばん幸せな国」の秘密を解き明かす。ブータン政府公認プロジェクトで雪男探し!!「あの国には雪男がいるんですよ!」。そのひと言に乗せられて高野氏はブータンへ飛んだ。雪男を探しながらも、「世界最高の環境立国」「世界で一番幸せな国」と呼ばれる本当の理由にたどりつく。



『ルーズヴェルト・ゲーム』

池井戸 潤 著

【講談社・1,680円(税込)】(2012年2月21日 出版) ISBN:9784062173766

「一番おもしろい試合は、8対7だ」野球を愛したルーズヴェルト大統領は、そう語った。

監督に見捨てられ、主力選手をも失ったかつての名門、青島製作所野球部。

創部以来の危機に、野球部長の三上が招いたのは、挫折を経験したひとりの男だった。

一方、社長に抜擢されて間もない細川は、折しもの不況に立ち向かうため、聖域なきリストラを命じる。廃部か存続か。繁栄か衰退か。人生を賭した男達の戦いがここに始まる。

引用:紀伊國屋書店BookWeb

わたしの学生生活

税理士を目指し、高千穂大学に入学した丸山さんに、
目指したきっかけから将来までをお聞きました。



大学院
経営学研究科 1 年
丸山 宏明

私が、税理士を志した理由は、商業高校に通っていた際に、簿記の授業の時間にて、税理士という職業を知ったことがきっかけです。

大学の学部時代は、2年次の途中から専門学校へダブルスクールを始め、本格的に税理士の受験の勉強を始めました。専門学校の勉強と大学の勉強の両立は少々大変ではありましたが、当大学の税理士養成プログラムを同時に受講することにより、格段に負担が減りました。また、税理士養成プログラムにより、専門学校の勉強で行き詰った時にも気軽に質問等が出来、勉強の効率が上がったと思います。

大学院に進んだのは、専門的な知識の習得はもちろんですが、修士論文を提出することで、税理士の合格に必要な5科目のうち、2科目又は1科目が免除となり、試験では3科目又は4科目の合格で税理士になれるからです。

将来のビジョンとしては、ゆくゆくは税理士事務所を自分で立ち上げたいと思っています。しかし、それには困難なことが複数存在しますが、それらを乗り越えていきたいと思っています。目標を叶えるべく、まずは、税理士の試験を合格するために頑張っていきたいと思っています。



趣味は写真(①富士山 ②岡山城 ③鬼怒川)や登山とのことです。

私の学問

経営学部
笹金 光徳 教授



小学校の時は体育と社会科が好きなやんちゃ坊主だったのですが、6年生の夏休みに転機がありました。1969年7月21日に人類が初めて月に降り立ったのです。固唾をのんで生中継を見ていました。感動は冷めることなく、小学校の卒業文集では、「将来、宇宙開発にたずさわりたい」と書いています。しかし、それからの6年間で当初の計画は大幅に軌道修正されていました。宇宙開発と冷戦とのかかわりを何らかの形で伝聞された影響が大きかったように記憶しています。さらに、受験が近づくにつれ、自分に興味があるのは、工学ではなく理学であることが分かってきたという側面もあります。特に物理学に惹かれて行きました。ただし、現実的には理学部物理学科はどの大学でも難易度が高く、現役では無理だなど感じ、母親の看病という現実から浪人が許されない環境だったので「量子力学的な化学」の先生が2人いる早大理工化学科に入学しました。もちろん、当時はそんなイメージがあっただけで、実際には何もわかっていませんでした。その後時間はかかりましたが、何とかこの分野で成果を上げることができました。私の研究分野は、物理学と化学の境界領域で、国内では「量子化学」または「理論化学」と言われることが多いのですが、Chemical Physicsという言葉が一番しっくりくるように思います。一応化学者の範疇ですが白衣を着て実験することはありません。同じ分野の研究者には人の作ったプログラムで計算し、結果を解析するという点に興味がある人が多いのですが、私の場合は物理法則を起点として、原子・分子の問題を解くための式を導出し、実際に現実的な結果を得るために、物理学的には多体問題ゆえに「解析的」に定まらない対象に対して、コンピュータの力を借りて「数値的」に解くための方法を開発する、といったことを行ってきました。業績数は多くはあ

りませんが、学位の対象ともなった1993年の論文は専門分野においては十分評価され、昨年オックスフォード大学から出版された「Molecular Electromagnetism (分子電磁気学)」でも、私と直属の後輩の行った研究が好意的に解説されています。もちろん、今も研究の一線から引退したわけではなく、この20年間ずっと描いている次のテーマについて継続的に研究を行っています。ただし、私の頭が健在なうちに結果が出るか否か「神のみぞ知る」といったところでしょうか。

以上が、研究者としての「経緯と顔」ですが、他方で趣味と言えば、音楽です。願を掛けて封印した受験直前の半年を例外にすれば、私の人生の隣には、常に音楽があります。最近ほとんど演奏することはない、あくまでも聴くだけですが。発端は、小学校に入っところからの歌謡曲やグループサウンズですが、4年生の時にビートルズ、ビー・ジョーズ、サイモンとガーファンクルと出会ってしまったのが運命だったと思います。さらに大学時代は未知のJazzの世界に飛び込み、今ではいろいろな音楽を聴いています。2007年にZARDの坂井和泉さんが亡くなった時には無念で、妻と「祭壇に献花」にも行きました。そんな中で、私の宝物と言えば、たくさんのレコードとCDなのですが、1つだけピックアップしてみました。ビートルズの7枚目のオリジナルアルバム「リボルバー」の英国モノラル盤の初版です。10年前にこれをeBayオークションで安価にて落札できた時はうれしかったですね。希少価値というのも確かなのですが、元来私には骨董趣味はなく、どうしても入手したかった理由は最後の曲がこのレコードでしか聞けないミックスだからです。グーグルで「リボルバー マトリックス」と検索すれば謎が解けます。実は我が経営学部にはビートルズ友達が3人います。竹内先生、藤田先生、松崎先生(50音順)です。



平成24年度

予算の概要

平成24年度予算は、高千穂学園第6期中期経営重点目標・計画の実現に向け策定致しましたが、大学の新入生数が当初予算の想定人数に達しなかったことと、23年度に予定されていた機器取得のうち24年度取得に変更されたものがあることにより、予算の補正を行いました。以下では、補正後の予算について説明します。

教育面では、本学の建学理念および教育理念・教育目標の下、社会の要請に応えられうる学生質保証を中心とする学生育成を実現すべくより一層の教育改革に取り組むことをめざした予算と致しました。

財政面では、従来の方針通り人件費比率を50%未満とすることおよび帰属収支差額比率が10%を超えることを目標に編成致しましたが、24年度の新入生数から見て、人件費比率の目標を達成するためには、退学者数を減らす等の帰属収入を増加させる努力が必要となっています。

■ 平成24年度予算の概要

まず、学校法人の経営状態を把握するために、企業会計での損益計算書にほぼ相当する消費収支予算書を中心に23年度予算と比較しながら解説します。

24年度の帰属収入は、学部の新入学生数が減少することにより納付金収入が減少すること等で、23年度より59百万円程度減少する予算となっています。一方、消費支出は、人件費が職員の年齢構成の変化による減少を見込み、経費は建物の外壁調査の実施や減価償却額の増加等により14百万円の増加となり、予備費は23年度に東日本大震災対策諸経費に備えて5千万円に増額したものを、従来通りの3千万円に戻し、結果的に21百万円の減となる見込みです。基本金組入れ額は3号館・5号館の空調設備更新、事務用基幹システム導入、老朽化した施設設備の改修、登戸グラウンドや幼稚園舎の取得のための借入金返済、将来の土地・建物の取得に備えた積立金等を組入れますが、昨年より1億2千万円の減少となります。この結果、6百万円の消費支出超過予算となりました。

(1) 収入の部

- ① 帰属収入は28億45百万円と、23年度予算より59百万円減少しました。
- ② 学生生徒等納付金は、学部入学学生数の減少により23年度予算に対して72百万円減の23億30百万円となりました。
- ③ 手数料は志願者の減少を見込み1百万円減少、補助金は360百万円の増加となる見込みです。

(2) 支出の部

- ① 人件費は14億31百万円と、14百万円の減となりました。
- ② 教育研究経費は8億8百万円と、23年度より8百万円の増加

となりました。

管理経費は1億92百万円と、23年度より6百万円の増加となりました。

- ③ 学園の教育・研究水準の維持・向上のために組み入れる基本金組入額は、3億85百万円と1億21百万円の減少となりました。固定資産の取得額である第1号基本金組入額は、3号館、5号館、7号館の空調機更新に42百万円、事務用基幹システム導入に8百万円、図書の取得に26百万円、登戸総合グラウンドや幼稚園舎取得のための借入金の返済分64百万円等でこれに減価償却終了による除却分の調整をして1億15百万円です。将来の固定資産の取得に備えた第2号基本金は、大学の土地取得や校舎改築に備えて計画通り1億50百万円を組入れます。奨学金の原資となる高千穂育英基金にあてる第3号基本金には、計画通り20百万円を組入れます。1ヶ月分の支払資金に相当する第4号基本金は、すでに必要な額を組込み済のため、24年度の組入れはありません。

次に、その年度の諸活動に対応するすべての収入および支出の内容と支払資金の収入および支出のてん末を明らかにするという点で、企業会計のキャッシュフロー計算書と同じ目的をもった資金収支予算書について見てみます。

資金収入は25年度分の納付金の24年度中受入額である前受金収入12億2百万円および23年度予算上の24年度への繰越支払資金52億91百万円を含んで82億93百万円となります。24年度の諸活動に対応する収入と支出が生じた結果、24年度末の25年度への繰越支払資金は52億41百万円となる見込みです。

■ 平成24年度事業計画

大学関係

1. 学部教育の充実

- (1) 新カリキュラムの策定
平成26年度以降に予定されうる新カリキュラムの策定を行います。
- (2) 履修・成績管理システムの運用
履修・成績管理システムの再構築に伴い、引き続きWEB履修・出席管理システムの利便性向上に努めます。
- (3) 初年次（導入）教育
新入生のオリエンテーション、ゼミⅠ教育プログラムを継続実施し学習意欲の高揚を図ります。
- (4) 教育力向上への取り組み
FD研修会、全科目を対象とする授業評価アンケートを予定しています。
- (5) 「学士力」の向上
高千穂マスタープラン（大学生活の年間計画、修学モ

デル)を理解することにより4年間の大学生活をイメージさせて、学生本人が学生生活目標管理シートを作成することにより学習目標を明確にしていきます。

(6)学生指導

ゼミ教員を中心に、成績・出席不良者に対する指導・助言の徹底やアドバイザー制の活用を強化します。

(7)起業・事業経営(承継)コース

起業・事業経営(承継)コースでは、経営特別講座、会計特別講座、ビジネスゲーム、企業実地研修等を充実させていきます。

(8)国際交流・研修

米国オレゴン大学における3カ月間の研修を含む1年間のプログラムで、学部公式カリキュラムであるIBCS(国際ビジネスコミュニケーション・セミナー)に研修生を派遣します。これは、語学力だけではなくビジネス専門知識に関する科目も開講され、コミュニケーション能力を含め総合的な学習ができるプログラムです。また、短期研修生として、台湾・東呉大学へも学生を派遣する予定です。

2.大学院教育の充実

①授業評価アンケートを実施し、大学院教育の質の向上を図ります。

②23年度に引き続き視聴覚機器を利用した授業を行います。

3.情報機器の充実

情報関連科目に履修者の増加や、情報関連科目以外でのパソコンの利用増大に対応します。

4.図書館

①図書館システムのサーバーソフトのバージョンアップを行います。

②大学院の専門図書並びに人間科学部の専門図書の拡充を図ります。

5.就職活動支援

①キャリア教育の充実

資格取得によるキャリア形成支援とスキルアップを目的として「会計」、「ビジネス」、「情報」、「語学」、「教職」、「公務員」、「社会・労働保険」、「保育士」の8分野の講座を開設します。

6.奨学金制度

成績優秀者や経済的困窮者を支援する奨学金制度を運用していきます。

7.研究活動

総合研究所では、「高千穂大学と大学教育」というテーマで実施します。アジア研究交流センターでは、中国人事科学研究院・中央财经大学との共同研究を継続して進めていきます。

8.施設設備の整備

3号館、5号館及び7号館の空調機の改修を行い、学習環境を整備します。

校舎の耐震診断を実施し、必要に応じて補強工事を行います。

また、老朽化した校舎の計画的な建て替えのための資金的手当てを行っていきます。

9.入学志願者の確保

18歳人口が減少し、大学全入時代を迎え志願者と入学者の確保は最重要課題となっています。

理事会、教職員一丸となって、この最重要課題に取り組んでいきます。

また、東日本大震災の被災地域受験生に対する検定料免除及び入学予定者に対する授業料減免措置を引き続き行います。

10.認証評価適合認定後の対応

平成22年度に財団法人大学基準協会より大学基準に適合しているとの認定を受けました。その際の助言事項に対する真摯な改善を図ります。

■平成24年度 資金収支予算書(要約)

(単位:千円)

支出の部				収入の部			
科 目	金 額			科 目	金 額		
	平成24年度	平成23年度	増減		平成24年度	平成23年度	増減
人件費支出	1,431,085	1,440,521	△ 9,436	学生生徒等納付金収入	2,330,228	2,402,297	△ 72,069
教育研究経費支出	545,499	559,570	△ 14,071	手数料収入	35,678	36,771	△ 1,093
管理経費支出	171,478	168,804	2,674	寄付金収入	4,088	4,576	△ 488
借入金等利息支出	2,820	3,633	△ 813	補助金収入	266,200	262,587	3,613
借入金等返済支出	64,440	64,440	0	資産運用収入	96,890	100,656	△ 3,766
施設関係支出	87,666	119,743	△ 32,077	雑収入	111,828	97,300	14,528
設備関係支出	104,088	190,137	△ 86,049	前受金収入	1,202,785	1,154,325	48,460
資産運用支出	620,000	720,000	△ 100,000	その他の収入	199,042	223,514	△ 24,472
その他の支出	76,984	73,518	3,466	資金収入調整勘定	△ 1,245,049	△ 1,211,448	△ 33,601
[予備費]	50,000	70,000	△ 20,000	前年度繰越支払資金	5,291,101	4,766,568	524,533
資金支出調整勘定	△ 102,354	△ 102,549	195				
次年度繰越支払資金	5,241,085	4,529,329	711,756				
支出の部合計	8,292,791	7,837,146	455,645	収入の部合計	8,292,791	7,837,146	455,645

■平成24年度 消費収支予算書(要約)

(単位:千円)

支出の部				収入の部			
科 目	金 額			科 目	金 額		
	平成24年度	平成23年度	増減		平成24年度	平成23年度	増減
人件費	1,430,694	1,444,799	△ 14,105	学生生徒等納付金	2,330,228	2,402,297	△ 72,069
教育研究経費	808,679	800,530	8,149	手数料	35,678	36,771	△ 1,093
管理経費	192,298	186,644	5,654	寄付金	4,588	5,076	△ 488
借入金等利息	2,820	3,633	△ 813	補助金	266,200	262,587	3,613
資産処分差額	2,000	2,000	0	資産運用収入	96,890	100,656	△ 3,766
[予備費]	30,000	50,000	△ 20,000	雑収入	111,828	97,300	14,528
消費支出の部合計	2,466,491	2,487,606	△ 21,115	帰属収入合計	2,845,412	2,904,687	△ 59,275
当年度消費収支差額	△ 5,678	△ 88,061	82,383	基本金組入額	△ 384,599	△ 505,142	120,543
翌年度繰越消費収支差額	1,669,415	1,376,919	292,496	消費収入の部合計	2,460,813	2,399,545	61,268

平成23年度

決算の概要

■ 経営状態

企業会計の損益計算書に相当する消費収支計算書（別表2）で、平成23年度と平成22年度を比較しながら、本学の経営状態を説明します。

収入のうち、学生生徒等納付金は、44,890千円減の2,429百万円となりました。学部学生数の減少により減収となりました。

手数料は3,602千円減の37百万円となりました。追試験制度の変更や入学検定料の割引制度等により減少しました。

寄付金収入は、従来の父母の会等からの寄付により7百万円となりました。

補助金収入は、大学部門に私立学校施設整備費補助金18百万円、私立学校建物其他災害復旧費補助金9百万円が増加し補助金全体として10,211千円増の279百万円となりました。

資産運用収入は、運用環境の厳しさにより、9,424千円減の98百万円となりました。

雑収入は、大学の資格受験講座受講料収入、幼稚園の未就園幼児教室・預り保育の収入が減少し、退職金支出に応じて交付される退職金団体交付金も減少したこともあって、25,700千円減の120百万円となりました。

以上述べてきた収入の合計である帰属収入（企業会計の収益に相当）は、78,584千円減の2,969百万円となりました。

学校法人が教育・研究水準を維持・向上していくために必要な資金として帰属収入の中から組み入れた基本金の額は32,936千円増の386百万円でした。

登戸グラウンド・幼稚園舎の取得のための借入金の返済分や、備品・図書等の取得額、将来の校地・校舎の取得に備えての計画的な特定資産への組入、奨学金の原資となる育英基金への組入れ等が主なものです。

帰属収入から基本金組入額を差し引いた消費収入は、111,520千円減の2,583百万円でした。

支出のうち、人件費支出は、職員の年齢構成の変化等により62,003千円減の1,428百万円となりました。

教育研究経費は、東日本大震災の影響によるフレッシュアズオリエンテーションの中止、情報機器リース期間満了等によ

り40,921千円減の739百万円でした。

管理経費は、22年度と同水準の199百万円となりました。

借入金等利息は、幼稚園舎新築と登戸総合グラウンド取得のための借入金の利息を計画通り支払ったものです。

これらの支出の計である消費支出（企業会計の費用に相当）は、262,584千円減の2,372百万円でした。

消費収入から消費支出を差し引いた消費収支差額は、210百万円の収入超過（黒字）となりました。

$\{(\text{帰属収入} - \text{消費支出}) / \text{帰属収入}\}$ で表される帰属収支差額比率は、高いほど教育・研究の充実に振り向ける資金的余裕があり経営的に安定しているとされますが、22年度の全国の私大の平均が4.6%だったのに対し本学の23年度の比率は20.1%となり、安定した経営状態であることを示しています。

■ 財政状態

学園の財政状態を、貸借対照表（別表3）を基に説明していきます。

校地・校舎・機器備品・図書等の有形固定資産は、6,948百万円でした。大きな工事等が無かった一方で、減価償却を進めたため、17,370千円減少しました。

将来の土地・建物・機器備品の取得に備えた特定資産は計画通りに繰入れて、その他の固定資産は434,519千円増の5,941百万円となりました。

現金・預金や有価証券等の流動資産は、5,513百万円でした。

負債は、幼稚園舎新築と登戸総合グラウンド購入のための借入金の残高262百万円、24年度の納付金収入となる前受金が1,068百万円、退職金の支払に備えた退職給与引当金が634百万円等となっています。退職給与引当金は、必要額の100%が計上されています。負債の総額は172,289千円減の2,103百万円となりました。

基本金は、自己資金で取得した校地・校舎・機器備品・図書等の取得額である第1号基本金が11,248百万円、将来の校地・校舎取得等に備えた資金である第2号基本金が2,480百万円、育英基金の原資となる第3号基本金が698百万円、1ヶ月分の運転資金に相当する第4号基本金が196百万円の計14,236百万円となりました。

24年度に繰越す消費収入超過額の累計額は、1,675百万円と

なりました。

以上見てきたとおり、経費の節減等により、平成23年度は収
入超過の決算となりました。しかしながら、18歳人口の減少や
資産運用益が見込みにくい等の、学園経営にとって厳しい環
境が見込まれますので、より一層の経営努力をしていきます。

■資金収支計算書（別表1）

（単位：千円）

支出の部				収入の部			
科 目	金 額			科 目	金 額		
	平成23年度	平成22年度	増減		平成23年度	平成22年度	増減
人件費支出	1,442,319	1,493,933	△ 51,614	学生生徒等納付金収入	2,428,750	2,473,640	△ 44,890
教育研究経費支出	493,339	548,938	△ 55,599	手数料収入	36,648	40,250	△ 3,602
管理経費支出	178,832	180,100	△ 1,268	寄付金収入	6,047	6,037	10
借入金等利息支出	3,633	4,446	△ 813	補助金収入	278,974	268,763	10,211
借入金等返済支出	64,440	64,440	0	資産運用収入	98,233	107,657	△ 9,424
施設関係支出	110,303	21,749	88,554	資産売却収入	754,705	354,853	399,852
設備関係支出	151,509	156,928	△ 5,419	事業収入	0	3,417	△ 3,417
資産運用支出	1,754,659	1,300,990	453,669	雑収入	119,698	145,394	△ 25,696
その他の支出	88,332	98,594	△ 10,262	借入金等収入	0	0	0
資金支出調整勘定	△ 64,507	△ 67,003	2,496	前受金収入	1,066,336	1,137,521	△ 71,185
次年度繰越支払資金	5,291,101	4,766,568	524,533	その他の収入	1,222,719	644,428	578,291
支出の部合計	9,513,960	8,569,683	944,277	資金収入調整勘定	△ 1,264,718	△ 1,321,432	56,714
				前年度繰越支払資金	4,766,568	4,709,155	57,413
				収入の部合計	9,513,960	8,569,683	944,277

■消費収支計算書（別表2）

（単位：千円）

消費支出の部				消費収入の部			
科 目	金 額			科 目	金 額		
	平成23年度	平成22年度	増減		平成23年度	平成22年度	増減
人件費	1,428,548	1,490,551	△ 62,003	学生生徒等納付金	2,428,750	2,473,640	△ 44,890
教育研究経費	739,075	779,996	△ 40,921	手数料	36,648	40,250	△ 3,602
管理経費	198,881	200,525	△ 1,644	寄付金	6,945	8,707	△ 1,762
借入金等利息	3,633	4,446	△ 813	補助金	278,974	268,763	10,211
資産処分差額	1,969	159,637	△ 157,668	資産運用収入	98,233	107,657	△ 9,424
徴収不能額	465	0	465	資産売却差額	0	0	0
消費支出の部合計	2,372,571	2,635,155	△ 262,584	事業収入	0	3,417	△ 3,417
当年度消費収支差額	210,114	59,050	151,064	雑収入	119,698	145,398	△ 25,700
翌年度繰越消費収支差額	1,675,093	1,464,979	210,114	帰属収入合計	2,969,248	3,047,832	△ 78,584
				基本金組入額	△ 386,563	△ 353,627	32,936
				消費収入の部合計	2,582,685	2,694,205	△ 111,520

■貸借対照表（別表3）

（単位：千円）

資産の部				負債・基本金・消費収支差額の部			
科 目	金 額			科 目	金 額		
	平成23年度	平成22年度	増減		平成23年度	平成22年度	増減
固定資産	12,888,513	12,471,364	417,149	固定負債	839,162	926,364	△ 87,202
有形固定資産	6,947,624	6,964,994	△ 17,370	長期借入金	197,760	262,200	△ 64,440
土地	1,155,093	1,155,093	0	退職給与引当金	633,772	647,544	△ 13,772
建物	4,072,321	4,129,308	△ 56,987	その他	7,630	16,620	△ 8,990
機器備品	325,895	300,403	25,492	流動負債	1,264,266	1,349,353	△ 85,087
図書	1,302,448	1,280,484	21,964	短期借入金	64,440	64,440	0
その他	91,867	99,706	△ 7,839	前受金	1,067,694	1,137,521	△ 69,827
その他の固定資産	5,940,889	5,506,370	434,519	その他	132,132	147,392	△ 15,260
施設充実引当特定資産	2,480,440	2,330,440	150,000	負債の部合計	2,103,428	2,275,717	△ 172,289
育英基金引当資産	698,228	676,034	22,194	基本金	14,622,925	14,236,361	386,564
退職給与引当特定資産	655,780	655,780	0	第1号基本金	11,248,251	11,033,881	214,370
その他	2,106,441	1,844,116	262,325	第2号基本金	2,480,446	2,330,446	150,000
流動資産	5,512,933	5,505,693	7,240	第3号基本金	698,228	676,034	22,194
現金預金	5,291,101	4,766,568	524,533	第4号基本金	196,000	196,000	0
有価証券	77,252	599,492	△ 522,240	翌年度繰越消費収支差額	1,675,093	1,464,979	210,114
その他	144,580	139,633	4,947	合 計	18,401,446	17,977,057	424,389
合 計	18,401,446	17,977,057	424,389				



同窓会会長就任のご挨拶

高千穂学園同窓会(大学9回・昭和36年)

会長 金子 惇

本年5月、高千穂学園同窓会会長に就任いたしました。

激動の時代にあって6年間にわたり、同窓会発展のため組織の強化・将来を見据えた財政基盤の確立に、強い意志をもって取り組まれた前任の福田昌夫会長の後を引き継ぐことになり、その責任の重さを痛感しているところであります。

さて、平成24年度の同窓会の運営にあたりまして2点を重点課題として掲げてまいります。

第一は、『同窓会組織の一層の基盤の強化』であります。残念なことに相変わらず同窓会や母校に対する関心が薄く、行事への参加についても盛り上がりには欠ける状況であります。

10月下旬には『学園祭』の時期に合わせて『第5回全国支部高千穂会』の開催を予定しております。関係者が一同に会して『同窓会組織の活性化』『大学支援事業のあり方』など討議を行い、可能なものから実施に移す考えであります。

第2は、ここ両3年リーマンショック・ユーロ危機・東日

本大震災などが発生し、経済問題はもとより人々の価値観がどのように変化するのか、予測が困難な状況にあります。

一方、受験人口数は今後も減少傾向が続きます。平成24年度の入学者数は昭和40年代以降経験したことのない厳しい結果となりました。

この現実をしっかりと認識し、同窓生一人ひとりが愛校心をもって学園に対して『何が出来るのかを考え、行動を起こす』ことが求められます。

同窓会としてもこの難局を乗り切るため、従来にもまして理事会・教授会・事務職員・父母の会と『五位一体』で学園発展に取り組んでいきたいと考えております。

平成24・25年度は常任理事8人、うち副会長3人体制で同窓会の事業を実施してまいります。

どうか同窓会の行事に参加・支援をいただくことにより、同窓生相互の連帯感を醸成していこうではありませんか。



平成24年5月26日開催 同総会総会 (於学内)



平成24年5月26日開催 同総会総会 懇親会 (於学内)

父母の会

郷土企画に参加して

『5月14日 埼玉県支部提供「十万石 幸たま」蒸しカステラ』

父母の会 埼玉県支部

松本 宏子

うっとおしい梅雨の季節ですが、紫陽花の花がますます美しく見える今日この頃、皆様におかれましては、益々ご健勝のことと存じます。

先日、埼玉県支部提供の郷土企画に参加しましたので報告致します。埼玉県支部では昨年に引き続き、

行田市の銘菓 十万石 ふくさやのお菓子「幸たま…さきたま」

を提供させていただきました。カスタードクリームと抹茶の2種類、若い世代には抹茶味は敬遠されがちかと、カスタードを多めに用意しましたが、始めに動き出したのは抹茶味で、特に男の子に人気があったのがとても意外でした。

声をかけますと、遠慮がちに頭を下げ、手を出す子。「何？なに？もらえるんですか！？」と元気よく選んでいく子。「自分も埼玉県民で一す！」とまわりの友達に声掛けしてくれた子。

正直、今どきの学生はどんなノリでこの郷土企画を迎

え入れてくれるのか、少々不安でありましたが…

学生達は皆、明るく真っすぐに育ったという可愛らしい印象でした。どちらかといえば、声を掛け、差し出して渡すことが多かったという傾向。皆さん、控えめなんですね。

大学生となった我が子の生活、友人関係等、全く見えなくなっていくもの。その日常生活を垣間見ることが出来るとは思ってもみませんでした。

息子と良く似た雰囲気の学生が見え、よく目についたのは気のせいでしょうか？息子はこのキャンパスで心地よく日々を過しているのだと…。と安堵したひとときでした。

私自身も人生で最後のキャンパスライフを体験し、とても充実した気分で帰路につきました。

開催にあたり、ご協力いただきました大学関係の皆様、様々ご配慮をいただき、ありがとうございました。感謝を申し上げますと共に、父母の会の益々の発展を祈念し、感想とさせていただきます。



5月22日

園田哲男教授勤続 30 年 永年勤続表彰者表彰状授与式

5月22日(火)、永年勤続表彰者表彰状授与式を行い、経営学部園田哲男教授は今年度で勤続30年を迎えられました。教授より30年の思いとこれからについてご挨拶をいただきました。

—感謝—

経営学部教授 園田 哲男

高千穂大学に奉職して早、30年、まさに「光陰矢のごとし」である。ふっと振り返ってみると「とても居心地の良い30年であった」と言える。ベテランも若手も心ひとつに研究活動に必死に立ち向かう姿に刺激と感動を感じる日々であった。私は新米教師の時からライフワークとして台湾を中心に東アジアの開発経済をテーマに研究しておりますが、とりわけ「戦後台湾経済の実証的研究 - 台湾中小企業の役割と課題」という大きなテーマに取り組み、資料収集・現地調査のため台湾に何度も足を運び続け、本書を上梓することができたのも、結果2004年に「経済学博士号」を取得できたのも、学園のご厚情ある支援があつたのことに感謝しております。学園の理解と充実した教育・研究環境がわたくしたちに見える励みとなり教育に、また研究にと勤しむことができているのだと思います。

今後学園のますますの繁栄を願う一人として、「恩を忘れてはならぬ、人は皆恩人なりと感謝を以て世を渡る事」をモットーに、学生教育に、研究に精進したいと思っております。



5月26日

硬式野球部 春季リーグ優勝

硬式野球部が東京新大学野球連盟2部春季リーグにて8勝2敗で優勝を飾りました。後日、行われた1部との入替戦は2敗1分で敗退をし、1部昇格は逃しました。

個人タイトル受賞者

染川 竜仙選手(経2年) 最多勝利、最優秀防御率、最多奪三振

岡崎 友哉選手(経2年) 最多打点

広瀬 竜也選手(商2年) 最優秀出塁率、最多盗塁



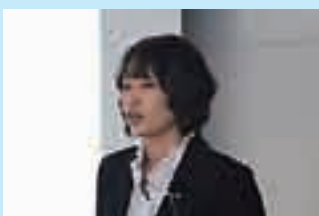
7月2日

教育実習体験報告会

7月2日(月)、教育実習を終えた教職履修学生による教育実習体験報告会が実施されました。学生たちは各々の体験を実習中の具体的な例を挙げながら報告をしていました。報告発表をした学生は以下のとおり。



商学部 4年 熊坂 翔



経営学部 4年 近藤 千尋



人間科学部 4年 熊田 翔太

7月3日

高千穂大学奨学生表彰認定式

7月3日(火)、高千穂大学奨学生表彰認定式が挙行され、延べ119名の学生が表彰・認定を受けました。内訳は以下のとおり。

【小池厚之助賞】	商学部 29名	経営学部 30名
		人間科学部 12名
【私費外国人留学生奨学生認定】	商学部 1名	経営学部 2名
【学業成績優秀者奨学生認定】	商学部 4名	経営学部 2名
		人間科学部 3名
【資格取得者表彰】	経営学部 1名	
【海外留学奨学生認定】	経営学部 1名	
【IBCS 特別奨学生認定】	経営学部 1名	人間科学部 1名
【海外研修奨学生認定】	商学部 3名	経営学部 7名



日中対照言語学会開催報告

日中対照言語学会常務理事
経営学部助教

安本 真弓

日中対照言語学会第27回大会（2012年春季大会）が5月27日（日）、本学で開催された。当日は好天気にも恵まれたが、あいにく関西地区の先生たちが「中国語スピーチコンテスト」に参加せざるを得ないため来られず、それでも40名あまりの大会参加者があった。

大会は開催校と理事長挨拶のあと、午前中は4名の研究発表、午後は5名の研究発表があった。今回の研究発表は助詞や、接辞詞、文構造、モダリティなどの日中対照研究4名、日中の対訳問題1名、誤訳問題1名、そして中国語の助詞、文構造、文の働きに関する発表3名と、多方面にわたるものであり、また各発表に対する質疑応答も活発に

行なわれた。本大会を通じて日中両言語のいくつかの問題について深い議論をなされ、更なる



研究により大きな成果が期待できる。そして、本学の連合教授会に使用される会議室は大変快適であり、好評を得ていたことをここに記しておきたい。

補足になるが、日中対照言語学会は、日本語と中国語の対照研究を中心に、日中両言語に対する研究を推進し、その成果を共有することを通じて、会員すべてがその取り組む研究、教育、職務などの面で質的向上をはかることを主たる目的としている。その目的を達成するために、本学会は口頭発表の場として毎年定期的に月例研究会を開催するとともに、5月と12月には全国大会を開催している。



情報メディアセンターからのお知らせ

コンピュータ室の特別開放について

コンピュータ室の夏季特別開放を次の通り実施します。

期 間	開放時間
7/28(土)までの土曜日【通常開放】	9:00~15:00
7/30(月)までの月~金曜日【通常開放】	9:00~20:00
7/31(火)~8/10(金)の月~金曜日【特別開放】	10:00~15:30
8/21(火)~8/31(金)の月~金曜日【特別開放】	10:00~15:30
9/3(月)~9/20(木)の月~金曜日【特別開放】	9:00~16:00
9/8(土)【特別開放】	9:00~15:00
9/21(金)以降の月~金曜日【通常開放】	9:00~20:00
9/22(土)以降の土曜日【通常開放】	9:00~15:00

*9/15(土)と9/17(祝)の開放はありません。

*開放日時とは変更になる場合があります。最新の情報は情報メディアセンターホームページで確認してください。

機器の特別貸出について

ノートパソコンなどの機器の夏季特別貸出を次の通り実施します。

貸出日	貸出日数または返却期限
7/31(火)まで【通常貸出】	1週間以内
8/1(水)~8/10(金)【特別貸出】	3週間以内
8/21(火)~9/14(金)【特別貸出】	2週間以内
9/15(土)~9/22(土)【特別貸出】	9/29(土)
9/24(月)以降【通常貸出】	1週間以内

*貸出には「情報メディアセンター利用者票」が必要です。

*借受けた機器を紛失や損傷した場合は弁償となります。機器の取扱いには充分ご注意ください。

編集後記

▼「クォーターリー高千穂」第38号をお届けします。▼大学では春学期定期試験が始まり、その試験が終わると皆さんが待ちに待った夏休みがやってきます。▼皆さんはどのように夏休みを過ごすのでしょうか。久しぶりの帰省、友達や家族との旅行、クラブの練習、勉強等、いろいろな過ごし方があると思いますが、せっかくの長期休暇ですので、ぜひ有意義に使ってください。▼さらに今年は4年に一度のオリンピックイヤーです。その開催地であるロンドンでは各国を代表する選手達が連日、熱戦を繰り広げ、ヒーローが生まれることでしょう。応援のし過ぎや寝不足にはお気をつけください。▼一方で、「節電」への取り組みも必要となります。昔から日本には電気に頼らず、涼しさを作り出す様々な工夫がありますが、我が家ではグリーンカーテンを作るべく、へちまや朝顔等を育てています。昨年に引き続き、皆さんにとって「エコ」や「環境」という問題を考える「夏」になると思います。一人一人ができる範囲で不要な電力の使用を極力控え、暑い夏を乗り切ってください。（ただし、熱中症には十分ご注意ください!!）（編集室）

編集委員

●編集長 吉崎信彦

●委員 高橋 拓

西原正人



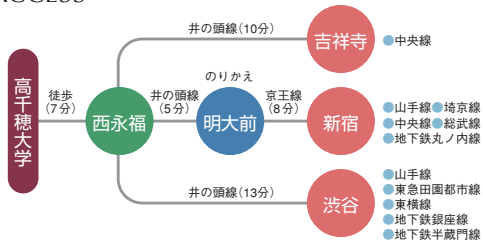
喫煙に関するルールについて

本学キャンパスのある杉並区では、条例により区内全域で、歩きたばこや吸い殻のポイ捨てを禁止（一部の路上禁煙地区では条例違反者から過料を徴収）しています。

本学においても、構内の指定された場所以外での喫煙は禁止とし、また、通学路等での喫煙についても歩きたばこや吸い殻のポイ捨てについては厳重に注意を与えています。

しかし、いまだにルールを守らない喫煙者が多く見受けられ、非喫煙者のみならず近隣住民の方々、ルールを守って喫煙している人にも多大な迷惑を掛けることとなっています。高千穂大学の学生として、節度ある行動をとり喫煙マナーの向上を心がけてください。

ACCESS



- 山手線・新宿駅または渋谷駅から西永福駅(井の頭線)まで13分
(新宿駅からの場合は、明大前のりかえ)
- 中央線・吉祥寺駅から西永福駅(井の頭線)まで10分
- 西永福駅から本学まで徒歩7分

CAMPUS MAP



✉ soumu@gac.takachiho.ac.jp